

## 令和5年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会 小児・AYA部会 議事要旨

日 時：令和5年10月16日（月） 14：00～16：00

場 所：WEB会議

構 成 員：19名

出 席 者：12名

比嘉猛(南部医療センター・こども医療センター小児科)、屋宜孟(南部医療センター・こども医療センター小児血液・腫瘍内科)、山本真充(南部医療センター・こども医療センター小児看護専門看護師)、中里哲郎(南部医療センター・こども医療センター血液・腫瘍内科)、岩崎政志(森川特別支援学校)、金城敦子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、徳元亮太(沖縄がん教育サポートセンター)、外間早紀子(沖縄県保健医療部健康長寿課)、浜田聡(琉大病院小児科)、銘苺桂子(琉大病院産婦人科)、森島聡子(琉大病院第二内科)、増田昌人(琉大病院がんセンター)

欠 席：7名

大畑尚子(中部病院血液・産科)、伊良波史朗(南部医療センター・こども医療センター放射線科)、宮平有希子(がんの子どもを守る会 沖縄支部)、比嘉泉(琉大病院看護師)、金城正樹(沖縄県教育庁保健体育課)、崎間恒哉(沖縄県教育庁県立学校教育課)、當銘保則(琉大病院整形外科)

陪 席 者：4名

岸本こずえ(沖縄県教育庁保健体育課)  
有賀 拓郎(琉大病院 診療情報管理センター)  
比嘉 優花(琉大病院 がんセンター)  
石川 千穂(琉大病院 がんセンター)

**【報告事項】****1. 令和5年度 第2回小児・AYA部会 議事要旨(7月19日)**

浜田委員より、資料1に基づき説明があり、承認された。

**2. 令和5年度 第1回妊孕性温存療法WG 議事要旨(9月13日)**

浜田委員より、資料2に基づき説明があり、承認された。

**3. 小児・AYA部会 委員一覧**

今回から、沖縄がん教育サポートセンター代表の徳元亮太さんが委員に加わり、自己紹介があった。

**4. 「妊孕性温存療法」と「がん治療後の生殖医療」WG 委員一覧**

資料4の通り、報告された。友愛医療センターから野原委員が新たに加わった。

**5. 妊孕性温存療法について**

(1) 妊孕性温存療法研修会について

資料 5-(1)の通り、紙面にて研修会が開催された施設が報告された。

(2) 県の助成について

資料 5-(2)に基づき、外間委員より 9 月時点での助成実績が報告された。

(3) 琉大の実績について

資料 5-(3)の通り、紙面にて報告された。

(4) がん治療施設について

資料 5-(4)の通り、紙面にて報告された。研修会を修了した施設として、新たに、ハートライフ病院と南部医療センター・こども医療センターが「がん治療施設」一覧に加わった。

6. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）について

資料 6 に基づき、増田委員より、第 4 次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）を、県の方へ手交したことが報告された。

7. 『小児がん経験者のための健康管理応援ガイド』の取り扱いについて

8. 『がんと告知された小児・AYA 世代の方がまず始めに手に取るパンフレット』の取り扱いについて

資料 7 に基づき、事務局より、上記ガイド及びパンフレットを、県内各施設に発送したことが報告された。

9. AYA 世代がん患者のためのサポートブック等の紹介

資料 10(当日資料)に基づき、増田委員より、AYA 世代がん患者のためのサポートブック各種について紹介され、活用が進められた。

10. AYA サポートチーム活動の手引き及びスクリーニングシートについて

資料 11(当日資料)に基づき、増田委員より、AYA サポートチーム活動の手引きについて紹介された。拠点病院等は、AYA のサポートチームを構築することが努力目標であるとのことだった。

**【協議事項】**

1. 今年度の部会活動計画について

資料 8(当日資料)に提示されている、小児領域 7 つ、AYA 世代領域 7 つの初期アウトカムを達成するために、部会として具体的にどのようなことを行うべきかが協議された。各領域、以下について、事務局の方で具体的な施策シートに落とし込み、11 月中に委員へ示し、次回部会で審議することとなった。

**【小児領域】**

①小児がん患者及びその家族に対して、十分な相談支援を提供する

②小児がん患者に対して、晩期合併症の検索も含めて、長期フォローアップを行う

**【AYA 世代領域】**

- ①AYA 世代のがん患者に対して、最新の知見に基づく、臨床試験や治験も含めての最適な治療を、タイムリーで質が高く、安全に実施する
- ②AYA 世代のがん患者に対して、治療と並行した学業や就労の継続、治療終了後の進学や就職に対する支援を行う
- ③子供がいる AYA 世代のがん患者に対して、その子供に対する支援を行う

**2. アピアランス支援モデル事業について**

資料 9 に基づき、増田委員より進捗状況が報告された。

**3. 『おきなわ 小児がん相談支援マニュアル』の改訂について**

資料 12(当日資料)に基づき、増田委員より改めて意見が求められた。最終的に、がんサポートハンドブックに掲載する予定の情報を削り、空けることができた枠に小児に関する情報を載せることとなった。

**4. 次回開催**

次回日程は未定。事務局より日程調整を依頼する。

以上